

スピードジャパンカップ2025（SJC2025）
 第5回スピードユース日本選手権多久大会（SYC2025）
 JMSCA スポーツクライミング競技規則 適用変更内容一覧

該当条項	変更内容および注意										
第98条（2）	〔変更〕 予選において<u>順位を持つ選手数にかかわらず</u>、決勝を実施する。										
第99条（2）	※適用せず 落下に先立ってコントロール（保持）またはユーズ（使用）した最も高位のホールド以外のホールドで落下を止めた。 ※¹										
第101条	〔変更〕 決勝の定員は、次の表に従って決定する。 <table><tr><th>予選<u>順位</u>保有選手数</th><th>決勝定員</th></tr><tr><td>4名以上8名未満</td><td>4名</td></tr><tr><td>8名以上16名未満</td><td>8名</td></tr><tr><td>16名以上</td><td>16名</td></tr></table> ※¹	予選 <u>順位</u> 保有選手数	決勝定員	4名以上8名未満	4名	8名以上16名未満	8名	16名以上	16名		
	予選 <u>順位</u> 保有選手数	決勝定員									
4名以上8名未満	4名										
8名以上16名未満	8名										
16名以上	16名										
	〔追加〕 <u>※予選順位保有選手数が4名未満の場合は、全員が決勝ラウンドに進むこととする。</u> <u>決勝定員が3名の場合、レースの組み合わせは下記の通りとする。</u> 1/2ステージ <table><tr><td rowspan="2">1</td><td>A</td><td>予選2位</td></tr><tr><td>B</td><td>予選3位</td></tr></table> ファイナル・ステージ <table><tr><td rowspan="2">2</td><td>A</td><td>予選1位</td></tr><tr><td>B</td><td>レース1勝者</td></tr></table>	1	A	予選2位	B	予選3位	2	A	予選1位	B	レース1勝者
1	A		予選2位								
	B	予選3位									
2	A	予選1位									
	B	レース1勝者									
第106条3	※適用せず 各レーンでのレースのうち、最初に予定されたレースにおいて不正スタートを行った選手は、2番目のレースを開始する資格を失う。 ※¹										

第112条	[変更] 予選における各選手の順位は、次の各号に従って決定する。 (1) 二つのレースの両方で競技を開始できなかった、あるいは開始にあたって不適格とされた選手は、当該ラウンドではランク外とし、その成績は欠場（DNS）またはその他の適切な無効成績指標とする。 (2) <u>不正スタートを行っていない選手を、その保有するクライミング・タイムのうちより短いクライミング・タイム（以下、「ベスト・タイム」と言う）を1/1000秒単位で比較し、その昇順で順位付ける。複数の選手が同じベスト・タイムを保有する場合は、当該選手の二つ目のクライミング・タイム（以下、「セカンド・タイム」と言う）を比較し、その昇順で順位付ける。なお、セカンド・タイムを保有する選手は、セカンド・タイムを保有しない選手の上位とし、セカンド・タイムを保有しない選手同士は同着とする。</u> (3) 二つのレースの両方でクライミング・タイムを記録できなかった選手は、前号の選手の下位とする。 (4) <u>不正スタートを行った選手は、前号の選手の下位とし、当該選手間はセカンド・タイムを比較し、その昇順で順位付ける。</u> (5) 第1号から第4号の適用後、同着があって決勝への定員を超える場合、同着の選手は関連する同着が解消されるまでレーンAで再度レースを行うものとする。ただし、このレースで記録されたクライミング・タイムは、決勝進出者の決定にのみ使用され、他の目的には使用されないものとする。 ※¹
-------	---

<補足>

※¹・・・国際競技規則の改定に合わせたもの。

概要)

- Fallの定義の変更

スリップ等で一度身体がウォールから離れても、地面に戻る前に再度レーンに取り付き、自動計時システムを停止させればクライミング・タイムが記録される。

なお、

- └ 自動計時システムの停止に失敗 < 第99条1号 >
- └ クライミング・ウォールの両脇または上端の縁をユーズ（使用） < 第99条3号 >
- └ スタート後に、身体のいずれかの部分が地面に触れた < 第99条4号 >

の場合は従前通りFallと判定される。

- 不正スタートを行った場合の取り扱いの変更

不正スタートを行った場合でも、次のレースに参加できない、あるいは前のレースの記録が抹消されることはなく、順位が付与される。不正スタートを行った選手同士の順位はセカンド・タイムで決定する。

また従来は、予選の2レースすべてでFallを記録もしくはどちらか1レースで不正スタートを記録した場合、当該選手は決勝ラウンド定員の決定基準人数から差し引いていたが、これらの人数を差し引かずに算出する（DNS等の無効成績指標を記録した選手以外の人数で定員を決定する）ことになった。